

週報

こひつじ

第39巻 49号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

ピラトの決断

その二 ピラトの失敗の原因

ピラトは傲慢ではあったが、イピラトは民衆を恐れて、ついにイエスに何の過失もないことは理解 エスを十字架につけるために引きした。そこで言った。

「私は、あの人には罪を認めませ
 死に渡したのはなぜだったのか。聞こうとした。しかし、すぐにそれを行動に移さ

それなのに、結果的にイエスを
 死に渡したのはなぜだったのか。聞こうとした。しかし、すぐにそれを行動に移さ

ピラトの失敗の原因は決断でき
 ないことにあった。どちらが、得策であるかと考え

彼は民衆の叫びを聞く。次に祭
 司長たちの意見を聞く。それから、自分の内側の声に聞かず、まわ

イエスに質問する。そしてまた、
 祭司長たちのところへゆき、彼ら
 の考えに耳を傾ける。

彼は行きつ戻りつする。それが彼の失敗の第一の原因だ
 こうしてイエスが無罪であるこ
 とを確信していたにもかかわらず、彼の失敗の、もう一つの原因は、

自分が歴史的舞台に立っていると
 いう認識を持っていなかったこと
 だ。自分が今、どんな立場にいるの
 か、また自分の決断が、将来にど
 んな影響を与えるのかについて彼
 は考えようとしなかった。彼の
 思いにあったのは、いつも現在だ
 けだった。

しかし旧約聖書に登場するバル
 ジライは違っていた。彼はすでに高
 齢で、ギルアデの山地で一族の長
 として穏やかな人生を送っていた
 のだが、ある日、彼の耳に、あの
 偉大な王ダビデが入り、失脚した
 という一大ニュースが入ってくる。
 彼の息子アブシャロムが反乱を起
 こしたのだ。世の中が急に騒がし
 くなってきた。歴史はどちらに味
 方するのか。ダビデかアブシャロム
 か。アブシャロムに分があると思
 えば、次々と重要な人物がアブシャ
 ロムの側につき始める。しかし、バ
 ルジライに迷いはなかった。ただ
 ちに多くの物資を携えてダビデの
 もとにおもむいた。ほとんど勝ち
 目のないダビデを支援することは八
 〇歳のバルジライにとつては大き
 な決断だった。もしアブシャロムが
 王になれば、処刑は免れないだろ
 う。それだけでなく彼の一族を危
 険にさらすことにもなる。それで
 も彼の決意は固く、危険を承知で
 ダビデを助けるのである。彼の方
 針が揺れ動かなかったのはなぜか。
 彼はギルアデの山地から、何十年
 ものあいだ、深い洞察をもって、
 神が人をどう扱われるかを見てき
 たのだ。エリ、サムエル、サウル、
 ダビデ、ヨナタン、ヨアブ、そし
 てアブシャロム、それらの人物た
 ちの行動を遠くからながめ、神の
 なさることに一貫した法則のある
 ことに彼は気がついていた。その法
 則とは、まちがった動機や野心か
 らは、何のよいものも生まれない
 ということだった。結果はどうであ
 ったか。一度は宮廷を追われたもの
 の、野戦に慣れたダビデの部下た
 ちが態勢を立て直すと、アブシャ
 ロムはもはや彼らの敵ではなかつ
 た。戦いは、結局、ダビデの勝利に

おわる。

バルジライの目に狂いはなかった。彼が惑わされなかったのは、長いスパンで物事を見ることのできたからだ。

私たちにも歴史を見る目が必要だろう。

ピラトに欠けていたのはそのことだった。そのためピラトは、自分の前におられるイエスをどう扱うかで大きな過ちを犯したのだ。

そして私たちの前にもイエスは日々おられる。

私たちは、この方をどう扱うだろうか。

天上の目、歴史の目は、その一点に注がれている。(終)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前10時から、第二礼拝は午前11時から。

○教会学校は午前10時から。

○説教は米村牧師。

先週の礼拝

○司会は合志文利さん、奏楽は

吉岡隆夫さん。

○説教は西岡潤也さん。ルカ二の一〇一―二から。救い主が生まれたという喜びの知らせについてでした。

「イエスが、私の心に生まれてくださったのは、私がクリスチャンださったのは、私がクリスチャン家庭に育ったからではない。私自身が挫折や弱さを体験する中で起こった出来事だった」と語ってくださいました。

○河上恵子さんの長女恵美子さんとその家族が四年ぶりに、彼らの住むアメリカ・サンディエゴから帰って来ました。礼拝では、恵美子さんと夫のダニエルさんが、彼らが行なっている留学生たちの伝道の様子を紹介してくださいました。

先週の出席

第一礼拝が四二名、第二が四一

名、合計八三名(男二七、女五六)

子ども一〇名。合わせて九三名。

案内

唯一それらがなかった時期は、

県立高校に就職していた半年間で

した。とても苦しんだ半年間で、

祈ることも讃美歌を歌うこともな

○『こひつじJエ』第二一号が時に夫に出会わせてくださったの

できました。今回の「あの人イン

タビュー」は木下美樹さんです。

○子どもクリスマスは一月二日

三日午前10時から教会の礼拝堂

で行なわれます。

○元旦礼拝は三十一日の礼拝に続

きますのでお休みとなります。

○米村牧師夫妻は、北海道のC

FNJ聖書学院で奉仕するため一

月一四日に出発。帰熊は一月二四

日の予定。

キリスト教との出会い⑤

三浦 桂